

「シティ信金 PLUS 事業大阪まちづくりファンド」が 3 エリアを重点地域として支援強化

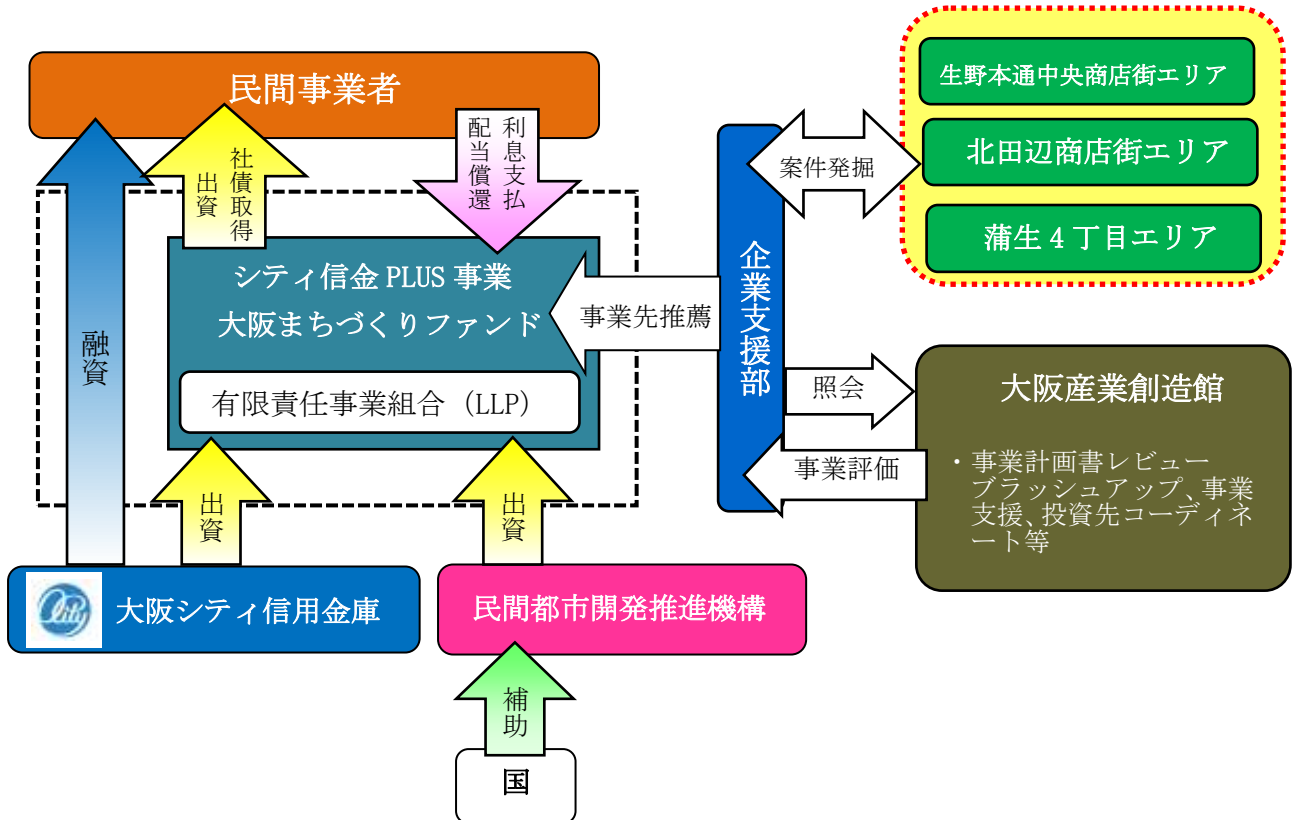
大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）と一般財団法人 民間都市開発推進機構は、当金庫の「商店街 PLUS 事業」で連携している3つのエリアを「重点地区」に定め、支援を強化することとしました。

当金庫は同機構と連携して、平成29年に「シティ信金 PLUS 事業 大阪まちづくりファンド」を組成し、同ファンドから民間のまちづくり事業を行う法人に出資等を行っています。

この度、当金庫が地域商店街の「賑わい」創出支援として実施している「商店街 PLUS 事業」でイベントの開催等を行っている「生野本通中央商店街エリア」「北田辺商店街エリア」「蒲生4丁目エリア」と連携を強化することで合意し、同ファンドの重点地区に決めました。地域の空き家、空き店舗の対策、観光資源の発掘・活用、高齢者や子ども対策など、街の活性化を目指すスモールビジネスを資金面で支援し、さらなる街の賑わい創出、地域活性化に取り組んでまいります。

記

○「シティ信金 PLUS 事業 大阪まちづくりファンド」の概要



以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。



(添付資料)

「シティ信金 PLUS 事業大阪まちづくりファンド」が重点地域として
支援する3つのエリアについて



蒲生四丁目エリアでのまちづくり
構想会議の様子

<蒲生四丁目エリア>



<生野本通中央商店街エリア>



<北田辺商店街エリア>



大阪府大阪市